

# Green Age

vol. 71  
2020.3月号

鹿児島高校新聞・グリーンエイジ/第71号

【編集・発行】学校法人 津曲学園 鹿児島高等学校 企画広報部 / 〒890-0042 鹿児島市薬師1丁目21-9 / TEL.099-255-3211 / FAX.099-258-0080

3月1日(日)、正門の紅梅に雨露が滴り、別れを惜しむ心を映したかのような曇り空のもと、第71回鹿児島高等学校卒業式が無事に挙行され、普通科275名、英数科87名、情報ビジネス科126名、計488名の3年生が卒業を迎えました。

保護者や職員の温かい拍手に迎えられて入場した後、各クラスの総代に卒業証書が授与されました。徳丸喜代志校長は式辞として「これまでの価値観が通用しない社会になつたとしても、高校生活で身につけた『知的能力』を疑わず進んでほしい。先の見えない厳しい社会でも、君たちは今までどおり相手を尊重し、柔軟で、いつも機嫌よく生きていってほしい」と述べられました。在校生を代表して、第72代三浦会会長の洞嵩真くん(2F8 吉野中)が「3年間の友人や部活動の経験が、今後も励ましや勇気を与えてくれる。これからも私たちの目標として、憧れの先輩でい続けてほしい」とはなむけの言葉を贈り、卒業生を代表して松田暖音さん(3F2 武岡中)が、式を挙行できた感謝に加え、「鹿児島高校は人數が多く、様々な視点で物事を考えられた。高校で得た経験を種とし、それぞの夢に向かつて何事も乗り越えていきたい」と答辭を述べました。最後に、高校生活最後となる校歌を歌い、式は幕を下ろしました。

式の後は各クラスにて最後のホームルームが行われ、担任の先生から卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡されました。卒業生は3年間を振り返り、クラスメイトや先生、保護者の方への感謝述べ、別れを惜しみつつも未来への期待に輝かしい表情を浮かべていました。前途洋々たる道に進まれる卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。



## 鹿児島高等学校 令和初の卒業式

focus the KAKO

## てげてゲハイスクール フェスティバル2020

focus the KAKO

2月22日(土)・23日(日)、アミュプラザ鹿児島AMU広場にて『てげてゲハイスクールフェスティバル2020』が開催されました。高校生が主役となつてMBCの岩崎弘志アナウンサーと作り上げるこのイベントに、好会とフランダンスの久米杏佳さん(2F2 吉野中)、バイオリンの鎌田鴻太郎くん(3F6 鹿屋東中)が出演し、フェンシング部の体験ブースの他、祝佑奈さん(2F5 西紫原中)が司会を務めました。また、閉会式は原口捷くん(3F3 吉野中)が最優秀賞に選ばれました。

今年も、出演した生徒たちにとって貴重な体験となり、地元の皆様に鹿児島高校の素晴らしい姿を存分に披露できたことだと思います。



**Green Age**  
~可能性の世代~

greenとは、「未熟な、まだ完全でない」ことを示し、「これから可能性に満ち溢れている」ということを表す言葉です。そんなgreenな若者たちを、「グリーンエイジ」と呼びます。また、greenには「環境にやさしく、目にやさしい」とも言われており、「やさしさ」をイメージしています。「夢いっぱいのやさしい若者たち」にマッチした、この「GreenAge」をよろしくお願いします。

## 離任される先生から鹿高のみなさんへ

退職される先生方にコメントをいただきました。

- ①鹿高での在職年数 ②鹿高での思い出 ③鹿高生へメッセージ



碇山 明美先生(保健体育科)

①40年

②【8.6水害】…当時、女子バスケットボール部は学校で合宿をしていました。

【2005年インターハイウインターカップ出場】…県大会で4冠を果たし、初めての全国大会出場となりました。

③大学や就職と、それぞれ大人の階段をのぼっていくことになりますが、常に「挑戦」=チャレンジすることを忘れず、どんな時でも前向きに突き進んでいってもらいたいと思います。



福田 久美子先生(国語科)

①3年

②皆さんとのface to faceのトークが楽しかったです!

③風に向かって立つことで上昇する、と信じています。



松井 大樹先生(地歴科(世界史))

①3年

②鹿児島高校に赴任した最初の年に、硬式野球とサッカーで全校応援があったこと。

③考え方が言葉となり、言葉が行動となり、行動が習慣となり、習慣が人格となり、人格が運命を導く。



木村 兼先生(数学科)

①2年

②鹿児島国際大学・修学館・鹿児島幼稚園など津曲学園の施設を見て回ったこと。2年情報ビジネス科のインターンシップで生徒の実習場所を訪問したこと。3年次の遠足で平川動物園に行ったこと。他にも多々あります。

③夏や秋の体験入学で、生徒の皆さんが積極的に協力する姿に驚きました。また、入試で自主的に役割をこなす姿にも感心しました。これほどの大規模校では、どうしても必要なことでしょう。願わくば、この積極性を学業にも向けて欲しいなと思う次第です。そうすれば、なお一層の飛躍が期待されるでしょう。



星原 百梨恵先生(英語科)

①6ヶ月

②私が鹿児島高校に着任したのは、行事が盛りだくさんの2学期でした。鹿高生は行事の楽しみ方が上手だと感じたことが印象に残っています。盛り上げ上手で、静との切り替えもできる皆さんは素晴らしいです。

③卒業してこの学校を去る時に、自分自身を誇りに思えるよう一日一日を大切に過ごしてください。遠くから応援しています。

4月	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	木	水	火	昭和の日	一日連休	心臓レントゲン(7分×6銀)	三者面談(6分×40分×6限)	(部活動)(40分×6限)	三者面談(3分×40分×6限)	視力検査(2年)	視力検査(2年)	視力検査(2年)	視力検査(2年)	視力検査(2年)	内科検診	内科検診	P.T.A.会議室	新任教員式	本館	6月	5月	4月	3月	2月	1月	転入生	生徒登録	血圧測定			
内科検診／未来探求										14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	下宿生指導(2限)	前期補習開始(2限)	新任教員式(1限)														
										14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限							
										14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限							
										14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限	14時15分×6限							

ホームページでカラー版のGreenAgeを公開中! <http://www.kagoshima-h.ed.jp/magazine.php>



## Scio(スキオー)の意味

知るを意味するラテン語。science(科学)の語源にあるscientia(知識)は、Scioの派生語とされています。

## 国公立前期一般入試の吉報届く

## ♪進路についての判断と決断♪

コロナウイルスによる臨時休校の中、3月上旬までに令和2年大学一般入試の結果が発表された。鹿児島大学をはじめとする国公立大学前期試験の発表もあり、この時期までに進路を確定する生徒は多い。3月1日に卒業した3年生も目標とする大学への合格の吉報をもらってくれた。地元の鹿児島大学への合格22名をはじめ、中堅大となる広島大学、千葉大学など見事に合格を勝ち取っている。さらに、昨年度の卒業生では難関の一橋大学への合格を果たした。一方で残念ながら、前期で不合格になつた卒業生もあり、息つく暇もなく、後期試験を受験した卒業生にもいる。合格した卒業生諸君には心からの祝福の言葉と、3月まで受験を戦い抜いた全受験生諸君には芳い言葉を贈りたい。

大学進学率が50%を超える現在、大学進学の判断理由は人それぞれ違う。「就職のために…」という人もいれば、「教養のために…」「より専門的に学びたいから…」中には「親が言うから…」「周りが進学するから…」などの判断理由にしても否定できない。さらには、現実的には、これらの判断理由が複合的に絡んでいる場合が多い。しかし、高校生なら誰しも自分の進路についての決断をしなければならない。そこには、判断理由とは別の決断理由が存在するはずである。判断と決断は何が違うのであろうか。判断・決断ともに何かを選ぶことである。選択肢のある・なしにかかわらず、何かを決定しなければならない。手元の辞書(『旺文社国語辞典第8版』)によると、判断とは、「①善悪・眞偽などをよく考えて決める」と、または、「②前後の事情などから、直感的に考えを決める」と、

ある。一方、決断とは「方針・行動・態度などをきっぱり決める」とある。私はこれらの意味から、両者の違いが充分に理解できない。例えば、「前後の事情から直感的・きっぱりと決めた」場合は、それは判断か決断か?

しかし、辞書の定義はあるヒントを与えているように思える。それは、判断は前後あるいは周辺の事情などに影響されることである。すなわち、判断は過去や現在の状況から考えた場合に導き出される(決定できる)ものである。なるほど、未知数Xは諸条件がなければ導出できない。一方で、決断は完全未知の未来に対して自己」を投げ出す行為である。確かに、自身の未来は誰も予想できないし、他の未来と比較・検証することもできない。我々は完全に未知の世界(未来)に対して極めて臆病である。その臆病さゆえに、我々は過去や現在から自身の進路を判断するのである。そのため進学・就職の分析が必要であり、当然、自分自身の過去と現在の分析が必要である。そして、判断を決断に移行させる際には、未來の自分や社会に対するビジョンが必要となる。進路決定で自己理解や大学・企業理解が重視される所以であり、「なりたい自身=自己キャラ」のイメージが重要なのである。

もちろん、今年の卒業生たちも、こうした自己理解や大学・企業理解を判断材料として、大学入学試験や就職試験を受験した。受験の決断前には必ず判断を伴つて。教育改革の影響を受け、大学受験に関しては、さまざまな形式で、このような自己の進路に関する判断力や課題解決に対する判断力が問われる。今後、受験を迎える1・2年生諸君、十分に諸条件の分析力と自身と社会に対する過去と現在の分析力を磨き、解答のための判断力と自己の決断のための判断力を鍛えてほしい。

令和2年入試結果(一般試験・前期)の主な結果(3月19日現在)  
【国公立大学(学部)】◆一橋大学(社会) ◆群馬大学(理工) ◆千葉大学(総合工学) ◆広島大学(教育) ◆長崎大学(経済) ◆宮崎大学(工) ◆鹿児島大学(医・歯・理・工・水産・法文)・計14名 ◆北九州立命館大学・5名 ◆龍谷大学・2名 ◆関西外国语大学・2名 ◆西南学院大学・3名 ◆福岡大学・9名 など128名  
【公立短期大学】◆鹿児島県立短期大学・13名  
【私立大(一部後期も含む)】◆駒沢大学・1名 ◆専修大学・1名 ◆東洋大学・1名 ◆順天堂大学・1名 ◆同志社大学・1名 ◆立命館大学・5名 ◆龍谷大学・2名 ◆関西外国语大学・2名 ◆西南学院大学・3名 ◆福岡大学・9名 など128名  
【進学指導主任】西村浩一

## 結果自然

自分が望む結果を生み出したいのであれば、それなりの努力が必要である。人生において、成功するもしないも、結果を生むためにどれだけのことをしたか、しなかつたかによって決まるのではないだろうか。長い人生の中には、真っ直ぐに生きる人、生があれば、少し遠回りをしたり、寄り道をしたりしながら歩む人生もある。そのどちらが良いとも、悪いとも言えない。だが、様々な失敗やいろいろな体験・経験を積み重ねていくことにより、自分が望んでいる以上の結果につながることもある。そしてそれは、いつしかその人を成長させるものとなるだろう。つまり人生を歩むうえで大切なことは、どれだけ素晴らしい結果を生み出つかではなく、ここまでどういった道のりを歩いてきたかという過程(プロセス)が重要だということである。

中には、部活動の大会で優勝する、素晴らしい功績をあげるという「結果」にこだわらなければならない時もある。しかし、その結果にたどり着くまでは、やはり道のりが重要であり、その努力が最後には結果として結び付くことになるのではないか。だから、どれだけ頑張ったか、どれだけ努力したか。すなわち、「勝った人」が強いのではなく、どんなことにも耐え抜いてきた「強い人」が勝つのである。将来、素晴らしい結果を生み出したいのであれば、今を精いっぱい生きてやれ!



## 学びのヒント

商業科・柳山 美好

# 部活動の活躍

**男子剣道部** — 2月2日  
**演劇部** — 2月10日  
**春季ソフトテニス大会** — 2月7日～9日  
**優秀賞**  
**県2位** 岩元桐生(1J1 吉野中)  
 大久保悠汰(1F7 日当山中)  
 鹿井駿平(1F6 日当山中)  
 坂口仁(1J4 吉野中)  
 内匠屋源太(1F4 垂水中央中)  
 中島清貴(1F5 垂水中央中)  
**県2位** 脇田颯人(2F1 東谷山中)  
 森俊之佑(2F8 紫原中)  
 下牛尾大樹(2F8 宮之城中)  
 田中隆晴(2J3 東市来中)  
 松江航汰(2EE1 川内北中)  
 有枝僚(2F4 川辺中)

**男子ソフトテニス部** — 2月2日  
**優秀賞**  
**県2位** 岩元桐生(1J1 吉野中)  
 大久保悠汰(1F7 日当山中)  
 鹿井駿平(1F6 日当山中)  
 坂口仁(1J4 吉野中)  
 内匠屋源太(1F4 垂水中央中)  
 中島清貴(1F5 垂水中央中)  
**県2位** 脇田颯人(2F1 東谷山中)  
 森俊之佑(2F8 紫原中)

**第28回 鹿児島県高等学校冬季県大会**  
**優秀賞**  
**県2位** 岩元桐生(1J1 吉野中)  
 大久保悠汰(1F7 日当山中)  
 鹿井駿平(1F6 日当山中)  
 坂口仁(1J4 吉野中)

**第16回 吉満杯争奪学年別剣道選手権大会**  
**敢闘賞**  
**県2位** 田高将希(2F7 桜島中)

**第38回 川辺地区総合選手権バスケットボール大会**  
**準優勝**  
**県3位** 岩元桐生(1J1 吉野中)  
 大久保悠汰(1F7 日当山中)

**第55回 鹿児島県バドミントン総合選手権**  
**県3位** 亀井駿平(1F6 日当山中)  
 川崎晃希(2F1 東谷山中)  
 寺田貴哉(1J3 鹿屋東中)  
 下牛尾悠太(1F5 宮之城中)  
 上之段勇弥(1J4 細山田中)

**第4回 高校生よかアイデアコンテスト**  
**佳作**  
**JDSF-PD九州ダンススポーツ競技大会**  
 「JDSF 1級戦 ラテン」  
**優勝** 大脇奈々(2F4 天保山中)  
 「JDSF D級戦 ラテン」  
**準優勝** 大脇奈々(2F4 天保山中)

**情報モラル啓発標語・ポスター作品**  
**最優秀賞** 久保奈美(2E1 武中)  
**高等学校ボスター**

**女子バスケットボール部** — 2月24日  
**優秀賞**  
**県3位** 菊丸直也(2J4 東谷山中)  
 川崎晃希(2F1 東谷山中)  
 寺田貴哉(1J3 鹿屋東中)  
 下牛尾悠太(1F5 宮之城中)  
 上之段勇弥(1J4 細山田中)

**第38回 川辺地区総合選手権バスケットボール大会**  
**準優勝**  
**県5位** 岩元桐生(1J1 吉野中)  
 大久保悠汰(1F7 日当山中)

**第4回 高校生よかアイデアコンテスト**  
**優秀賞**  
**県5位** 岩元桐生(1J1 吉野中)  
 大久保悠汰(1F7 日当山中)

**2019年度 第2回 日本語検定**  
**全国高等学校国語教育 優秀賞**  
**団体表彰**  
**高等学校標語**  
**2月23日**

**第17回 全日本年賀状大賞コンクール**  
**奨励賞** 白濱竜士(3F6 吉田南中)  
**高校生の部 ことば部門**

3

2